



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 三井金属鉱業株式会社

コード番号 5706 URL <http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 仙田 貞雄

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長

(氏名) 境 克也

TEL 03-5437-8028

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	110,030	4.0	5,463	4.5	5,985	1.9	4,663	10.9
26年3月期第1四半期	105,806	0.7	5,227	106.6	6,100	168.2	4,206	318.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 5,744百万円 (47.8%) 26年3月期第1四半期 11,011百万円 (373.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第1四半期	8.16	
26年3月期第1四半期	7.36	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第1四半期	508,466	172,989	32.3	287.73
26年3月期	503,825	169,867	31.9	281.67

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 164,329百万円 26年3月期 160,872百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期		0.00		4.00	4.00
27年3月期					
27年3月期(予想)		0.00		4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	215,700	0.5	9,600	19.4	10,500	16.7	7,700	11.9	13.48
通期	446,200	1.2	25,000	2.9	27,500	101.4	17,100	366.9	29.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無  
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	572,966,166 株	26年3月期	572,966,166 株
27年3月期1Q	1,835,071 株	26年3月期	1,832,185 株
27年3月期1Q	571,132,519 株	26年3月期1Q	571,148,785 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において四半期報告書も同日に開示する予定のため、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新興国経済の減速による輸出低迷や消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減などの動きがあったものの、政府の景気対策効果を背景として個人消費が堅調に推移したことや企業の業績改善継続による設備投資の増加基調等、緩やかな景気回復の動きが見られる中で推移しました。

このような環境の中、当社の売上高は、主要製品の販売増加による機能材料セグメントの増収や北米・中国市場を中心とした自動車機器セグメントでの販売好調等の影響により、当第1四半期は、前年同期比42億円(4.0%)増加の1,100億円となりました。

損益面では、前期計上した薄膜材料製品のたな卸資産の評価に係る見積り変更による一過性の影響の剥落がありましたが、機能材料・自動車機器セグメントの増収等により、営業利益は前年同期比2億円(4.5%)増加の54億円となりました。経常利益は、為替差損益等で営業外損益が悪化したことから前年同期比1億円(1.9%)減少の59億円となりました。

また、特別損益においては、固定資産除却損等を特別損失に計上し、さらに税金費用及び少数株主損失を計上した結果、四半期純利益は前年同期比4億円(10.9%)増加の46億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、平成26年4月1日付の全社的な組織改編に伴い、当第1四半期より報告セグメントの区分方法を変更しております。

#### ①機能材料

排ガス浄化触媒、スマートフォン向け極薄銅箔および液晶パネル向け薄膜材料製品などの販売が好調であったことや薄膜材料におけるインジウム価格の高騰等により当セグメントの売上高は前年同期比26億円(7.6%)増加の380億円となりましたが、経常利益は、前期計上した薄膜材料製品のたな卸資産の評価に係る見積り変更による一過性の影響が剥落したことにより17億円(30.6%)減少の39億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

電解銅箔(当第1四半期連結累計期間の生産量8千t)

#### ②金属

亜鉛など主要地金の需要および為替・LME(ロンドン金属取引所)価格は堅調に推移しましたが、貴金属価格の下落等により当セグメントの売上高は前年同期比7億円(2.4%)減少の302億円となりました。経常利益は、持分法投資損益の好転や在庫要因等により6億円(254.5%)増加の9億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

亜鉛(当第1四半期連結累計期間の生産量48千t<共同製錬については当社シェア分>)

鉛(当第1四半期連結累計期間の生産量15千t)

#### ③自動車機器

自動車需要は、北米・中国を中心に堅調に推移しました。当セグメントの売上高は、前年同期比43億円(20.8%)増加の251億円、経常利益は3億円(85.5%)増加の6億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

自動車用機能部品(当第1四半期連結累計期間の生産金額221億円)

#### ④関連

各種製品の需要が総じて堅調に推移しました。当セグメントの売上高は、前年同期比57億円(23.6%)増加の301億円となりました。経常利益は、各種製品の販売の増加やコスト削減効果等により2億円(160.4%)増加の4億円となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期第2四半期連結累計期間および通期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の業績予想につきましては、当第1四半期実績と第2四半期の事業環境や為替・LME(ロンドン金属取引所)価格等の変動要因を勘案の上見直しております。

なお、第3・第4四半期につきましては、現段階で事業環境を見極めることが困難なことから、見直しておりません。

(金額：百万円)

		平成27年3月期 第2四半期 累計期間 (予想)	平成27年 3月期 (予想)
売上高	機能材料	76,900	152,200
	金属	59,600	125,000
	自動車機器	50,600	103,500
	関連	53,800	111,900
	消去又は全社	△25,200	△46,400
	合計	215,700	446,200
営業利益		9,600	25,000
経常利益	機能材料	6,800	12,000
	金属	2,000	6,800
	自動車機器	2,300	7,000
	関連	900	4,000
	消去又は全社	△1,500	△2,300
	合計	10,500	27,500
当期純利益		7,700	17,100

	4月平均	5月平均	6月平均	4～6月 平均	7～9月 見込	(参考) 前回予想 時見込
為替(円/US\$)	103	102	102	102	100	100
亜鉛LME(\$/t)	2,031	2,060	2,127	2,073	2,100	2,000
鉛LME(\$/t)	2,086	2,097	2,103	2,095	2,100	2,200

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①税金費用の計算

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が544百万円増加し、退職給付に係る資産が281百万円減少、利益剰余金が825百万円減少しております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,290	18,048
受取手形及び売掛金	82,582	80,933
商品及び製品	26,026	26,423
仕掛品	27,716	28,826
原材料及び貯蔵品	31,573	33,707
繰延税金資産	3,926	3,891
その他	11,410	13,145
貸倒引当金	△133	△153
流動資産合計	198,392	204,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	155,615	156,093
減価償却累計額	△103,660	△104,538
建物及び構築物 (純額)	51,954	51,555
機械装置及び運搬具	306,122	312,117
減価償却累計額	△254,171	△257,199
機械装置及び運搬具 (純額)	51,950	54,917
鉱業用地	507	506
減価償却累計額	△234	△233
鉱業用地 (純額)	273	272
土地	32,718	32,712
建設仮勘定	9,536	7,886
その他	52,134	52,130
減価償却累計額	△42,171	△42,607
その他 (純額)	9,963	9,523
有形固定資産合計	156,397	156,867
無形固定資産		
投資その他の資産	4,177	3,993
投資有価証券	134,337	131,991
長期貸付金	501	499
繰延税金資産	2,231	2,335
退職給付に係る資産	2,830	2,768
その他	5,344	5,565
貸倒引当金	△387	△376
投資その他の資産合計	144,857	142,783
固定資産合計	305,432	303,644
資産合計	503,825	508,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,699	44,173
短期借入金	59,084	65,456
コマーシャル・ペーパー	10,000	8,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	2,320	1,845
繰延税金負債	24	22
引当金	6,399	4,368
その他	28,362	28,834
流動負債合計	159,891	162,700
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	89,416	88,373
繰延税金負債	4,715	4,530
退職給付に係る負債	22,784	23,023
その他の引当金	2,559	2,459
資産除去債務	2,344	2,278
その他	2,246	2,111
固定負債合計	174,066	172,777
負債合計	333,958	335,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,557	22,557
利益剰余金	92,190	94,422
自己株式	△596	△597
株主資本合計	156,280	158,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,653	2,001
繰延ヘッジ損益	△205	△729
為替換算調整勘定	3,531	4,877
退職給付に係る調整累計額	△388	△331
その他の包括利益累計額合計	4,591	5,817
少数株主持分	8,994	8,659
純資産合計	169,867	172,989
負債純資産合計	503,825	508,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	105,806	110,030
売上原価	89,562	93,270
売上総利益	16,244	16,760
販売費及び一般管理費	11,016	11,296
営業利益	5,227	5,463
営業外収益		
受取利息	33	45
受取配当金	526	412
為替差益	578	—
持分法による投資利益	140	576
不動産賃貸料	258	228
その他	268	281
営業外収益合計	1,806	1,545
営業外費用		
支払利息	575	522
為替差損	—	73
その他	357	427
営業外費用合計	933	1,023
経常利益	6,100	5,985
特別利益		
固定資産売却益	27	12
事業構造改善引当金戻入額	—	44
受取補償金	—	69
その他	6	19
特別利益合計	33	145
特別損失		
固定資産売却損	8	17
固定資産除却損	91	226
減損損失	—	27
事業構造改善費用	151	36
製品保証引当金繰入額	180	—
その他	157	60
特別損失合計	589	369
税金等調整前四半期純利益	5,544	5,761
法人税、住民税及び事業税	1,060	1,383
法人税等調整額	185	△241
法人税等合計	1,245	1,141
少数株主損益調整前四半期純利益	4,298	4,620
少数株主利益又は少数株主損失(△)	92	△42
四半期純利益	4,206	4,663

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,298	4,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	305	336
繰延ヘッジ損益	△329	△753
為替換算調整勘定	3,828	△1,196
退職給付に係る調整額	—	54
持分法適用会社に対する持分相当額	2,907	2,683
その他の包括利益合計	6,712	1,124
四半期包括利益	11,011	5,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,713	5,889
少数株主に係る四半期包括利益	298	△144

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属 ・資源	電子 材料	素材 関連	自動車 機器	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	11,434	27,867	17,205	23,861	20,789	101,159	4,646	105,806
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	483	11,300	866	5,218	—	17,869	△17,869	—
計	11,918	39,168	18,072	29,079	20,789	119,029	△13,222	105,806
セグメント利益	1,650	337	854	3,513	361	6,718	△617	6,100

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△495百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	36,575	26,364	25,094	21,698	109,732	297	110,030
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,451	3,889	10	8,420	13,771	△13,771	—
計	38,027	30,253	25,104	30,119	123,504	△13,473	110,030
セグメント利益	3,928	971	671	417	5,989	△4	5,985

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△330百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成26年4月1日付の全社的な組織改編に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来の機能材料、金属・資源、電子材料、素材関連及び自動車機器から、機能材料、金属、自動車機器及び関連セグメントに報告セグメントの区分方法を変更しております。

変更後の各セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

セグメント	主要製品等
機能材料	電池材料（水素吸蔵合金、マンガン酸リチウム、電池用亜鉛粉）、 排ガス浄化触媒、機能粉（マグネタイト）、金属粉、 レアメタル化合物（セリウム系研磨材、酸化タンタル、酸化ニオブ）、希土類 電解銅箔、薄膜材料（スパッタリングターゲット）、 セラミックス製品（アルミ溶湯濾過装置、アルミナ系・SiC系セラミックス）、単結晶
金属	亜鉛、銅、鉛、金、銀、硫酸、亜鉛合金、 産業廃棄物処理、土壌調査、地熱蒸気
自動車機器	自動車用機能部品
関連	酸化亜鉛、リサーチ、アルミ・マグネダイカスト製品、 パーライト（建築材、湿式濾過助剤、断熱材、乾式濾過助剤、土壌改良材）、 人工軽量骨材、粉末冶金製品、非破壊型検査装置、研削砥石、 非鉄金属・電子材料等の販売、伸銅品（銅板、銅条、黄銅板、黄銅条）、 亜鉛板（印刷用亜鉛板、防食用亜鉛板、建材用亜鉛板）、 各種産業プラント・環境機器・自動化機器等のエンジニアリング、 建築・土木等の建設工事の設計・施工、ポリエチレン複合パイプ、情報処理システム

前第1四半期連結累計期間について変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	33,937	26,756	20,789	19,676	101,159	4,646	105,806
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,406	4,229	-	4,682	10,318	△10,318	-
計	35,344	30,985	20,789	24,358	111,477	△5,671	105,806
セグメント利益	5,660	274	361	160	6,457	△356	6,100